

# 秋の2泊3日濟州島の旅

**濟州島**（チェジュとう、さいしゅうとう）は、朝鮮半島の西南、日本海、東シナ海、黄海の間にある火山島。人口は約 55 万人。15 世紀初め頃までは耽羅という独立した王国があった。冬の寒さが厳しい韓国の中では最も気候が温暖で、韓国国内では「韓国のハワイ」とも呼ばれる。

1 日目 成田発（9：45）～濟州島着（12：20）～ホテル泊

2 日目 1 日観光（市内観光）又はゴルフ～ホテル泊

3 日目 1 日観光・買い物又はゴルフ～濟州島発（18：20）～成田着（20：30）



## トルハルバン公園

濟州のシンボル、トルハルバン（石のおじいさん）。

島の内外にたくさんあり、誰からも人気のトルハルバン。しかし、トルハルバンについてのきちんとした資料はありません。トルハルバンについての知識は石で作られたものといった程度で、島の人もあまり興味を持っていないのが実情です。島の内外に散らばっている様々なトルハルバンを一箇所に集め、美学的・学術的価値を新しく成立させ、貴重な文化遺産であるトルハルバンを永遠に保存し後世まで伝え、学習と観光の場としての活用も考え、トルハルバン公園はつくられました。トルハルバン公園にはトルハルバン 48 基再現公園、トルハルバン機能説明空間、散策路、再解析トルハルバン展示空間（平和をテーマに再解析されたトルハルバン）、濟州式公園、体験学習の場があります。

## 萬丈窟

万丈窟（マンジャングル）は天然記念物に指定されている世界最長の溶岩洞窟です。溶岩洞窟というのは火山が噴出するとき、土の中に深く隠れていた溶岩が火口から噴出し地表に流れてできたもの。万丈窟は 70 センチメートルにもなる溶岩石筈や溶岩チューブトンネルなど、様々な形態を持っています。

長さが 13,422 メートルありますが観光客に公開されているのは石柱がある洞窟の約 1 キロ程度であり、洞窟内部は年中 11~21 度を維持しています。万丈窟では、石柱と鍾乳石が 2 重 3 重に同じ方向に成長する姿が見られます。

## 城山日出峰

「城山日出峰（ソンサンイルチュルボン）」は 10 万年前の海底噴火によってできた巨大岩山であり、濟州島景勝地の 1 つ。その頂上から眺める美しい日の出は、濟州島の 10 絶景に数えられています。99 個の岩峰が噴火口を城のように取り囲んでおり、その内側は 3 万坪の広大な草原を作りだしています。世界遺産に登録された絶景。

		
<p>ソプチコジ</p> <p>ソプチコジは済州道の東側海岸の外れにあります。「ソプチ」はこの地域の昔の名前で、「コジ」は済州の方言で突き出した地形を指す言葉です。ソプチコジは、海岸の絶壁の上に木が一本もない草地で、海岸には立石という岩が立っています。ソプチコジの端には灯台があり、そこに行く道には風を防ぐための岩壁があります。この岩壁の中には菜の花畑があり、毎年4月になると満開の菜の花畑を見ることができます。</p> <p>灯台の手すりへのぼるとコジ海岸の景色を一目でみることができます。広く平坦なコジ丘の上には石で作られた烽火台（高さ約4m、縦横9mの正方形）があり、原型のまま保存されています。</p>	<p>城邑民俗村</p> <p>漢拏山の麓にある城邑民俗村（ソヌプミンソクマウル）は、韓国の伝統が生きてくる民俗村です。多くの文化遺産があるところで、昔の村の姿が維持されているので民俗村として指定・保護されています。ここには民家、郷校、昔の官公署、トルハルバン（石のおじいさん）、臼、城址、碑などの有形文化遺産と民謡、民俗遊び、郷土料理、民間工芸、方言などの無形文化遺産が今も受け継がれています。村の中央にある数百年になるケヤキとエノキは天然記念物に指定されています。ここを散策するとまるでタイムトリップをしているような気分になります。城邑民俗村では、まばらに積み重ねられた風避けの石垣（黒い溶岩石）、風が家の中に直接吹き込むのを防ぐために曲がっている狭い路地、済州の代表的な風物になっている石のおじいさんを見ることができます。</p>	

旅行期日：平成25年10月10日（木）～10月12日（土）

\*

旅行取扱 旅日本株式会社 石井 伸二  
 東京都知事登録旅行業第3-6456号  
 東京都世田谷等々力7-15-5  
 電話 090-3230-7555